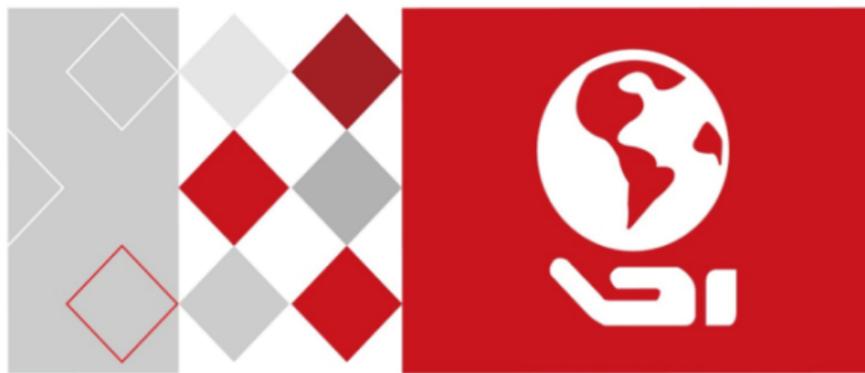


HIKVISION



ネットワークボックスカメラ

クイックスタートガイド

UD07275B

クイックスタートガイド

COPYRIGHT ©2017 Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd.

無断複写転載等の禁止。

文章、画像、図表を含むすべての情報は、Hangzhou HIKVISION Digital Technology Co., Ltd. またはその子会社(以下、「Hikvision」とする)の所有するものとします。本ユーザマニュアル (以下、「本マニュアル」とする) は、Hikvision の事前の書面による許可なく、部分的または全体的にかかわらず再生産、変更、翻訳または配布できないものとします。特に規定されていない限り、Hikvision は明示の有無によらず本マニュアルに関する補償は行いません。

本マニュアルについて

このマニュアルはネットワークボックスカメラに適用されます。本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明のみを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されることがあります。最新版は当社 Web サイトを参照してください (<http://overseas.hikvision.com/en/>)。

専門の技術者の指導の下で本ユーザマニュアルをご利用ください。

商標に関する確認

HIKVISION およびその他 Hikvision の商標およびロゴは、様々な裁判管轄地域においても Hikvision の所有物です。以下に示されたその他の商標およびロゴは、各権利保有者の所有物です。

法的免責事項

適用法により許容される範囲内で、記載の製品とそのハードウェア、ソフトウェアおよびファームウェアは、あらゆる不具合やエラーを含め、そのままの形で提供されるものとし、HIKVISION では明示の有無によらず一切の保証(性能、品質、特定の目的に対する適合性および第三者の権利非侵害を含みますが、これらに限定しない)を行いません。HIKVISION およびその取締役、役員、従業員または代理人は、本製品の利用に関連する事業利益の損失や事業妨害、データや文書の損失に関する損害を含む特別、必然、偶発または間接的な損害に対して、たとえば HIKVISION がそれらについて通知を受けていたとしても、一切の責任を負いません。

インターネットアクセスを伴う製品に関して、当該製品の一切の使用はお客様自身の責任によるものとします。HIKVISION は、異常操作、プライバシー漏えいまたはサイバー攻撃、ハッキング、ウィルス検査やその他のセキュリティリスクから生じるその他の損害に対して一切の責任を負わないものとします。ただし、必要に応じて HIKVISION は適宜技術サポートを提供します。

監視に関する法律は裁判管轄地域によって異なります。本製品のご使用前に、使用地の裁判管轄地域におけるすべての関連法を確認して、必ず適用法に準拠するように利用してください。本製品が不正な目的で使用された場合に、HIKVISION は責任を負わないものとします。

本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、後者が優先されます。

規制情報

FCC 情報

規制順守担当筋より明示的に承認されていない変更または改造を行うと、本装置を操作するユーザの権利が無効になることがあります。

FCC 準拠:本装置は連邦通信委員会 (FCC) 規則第 15 条の基準に基づくクラス B デジタル機器です。これらの制限は住宅への設置における有害な干渉に対して妥当なレベルの防護を提供するためのものです。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書にしたがって設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。しかし、特定の設置状況において干渉が発生しないことを保証するものではありません。もしこの機器がラジオやテレビの受信状態に有害な干渉を引き起こす場合(機器の電源をオンにしたりオフにすることで確認できます)、ユーザは以下の手段の一つまたはそれ以上を適用することでそれに対応することが推奨されます。

- 受信アンテナの方向や位置を変える。
- 機器と受信機の距離を大きくとる。
- 機器を受信器が接続されているものとは違う系統のコンセントに接続する。
- 支援が必要な場合、販売店または経験を積んだラジオ／TV の技術者に相談してください

FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール Part 15 に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件に従うものとします。

ネットワークボックスカメラ・クイックスタートガイド

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。
2. このデバイスは、望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含んだあらゆる干渉受信を受容しなければならない。

EU 適合宣言



本製品および -該当する場合- 付属品は、“CE” のマークが付いており、EMC 指令 2014/30/EU、RoHS 指令 2011/65/EU の下に記載されている該当欧州統一規格に準拠しています。



2012/19/EU(WEEE 指令):この記号が付いている製品は、欧州連合(EU)の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。詳細については次の URL を参照してください。

www.recyclethis.info



2006/66/EC(バッテリー指令):本製品には、欧州連合(EU)の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム(Cd)、鉛(Pb)、水銀(Hg)を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。詳細については次の URL を参照してください。

www.recyclethis.info

カナダ産業省 ICES-003 準拠

本デバイスは CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)の規格要件を満たしています。

安全上の指示

これらの指示は、ユーザが製品を正しく使用し、危険や財産損失を回避できるように保証することを目的としています。

使用上の注意の基準は、「警告」と「注意」に分かれています。



警告

この警告を無視した場合、重傷を負ったり死亡する可能性があります。



注意

この注意を無視した場合、ケガをしたり、装置が破損する可能性があります。

法および規制について

このデバイスは現地の法律、電気安全規制および防火規制に準拠して利用する必要があります。

輸送

デバイスを輸送する際は元々の梱包、またはそれに類する梱包を行ってください。

電源

入力電圧は IEC60950-1 規格に準拠する必要があります:SELV (Safety Extra Low Voltage; 安全特別低電圧)および有限電源。詳細情報については適切な文書を参照してください。



過負荷による加熱や火災を防ぐために、複数のデバイスを一つの電源アダプタに接続しないでください。

ネットワークボックスカメラ・クイックスタートガイド

プラグが適切に電源ソケットに接続されていることを確認してください。

システムセキュリティ

インストールした者およびユーザはパスワードとセキュリティ設定に責任を負います。

バッテリー



バッテリーの不適切な使用や交換を行うと、爆発の危険性があります。

同一または同等のタイプのもので交換してください。使用済みのバッテリーの廃棄は、お住まいの地域の規制に準拠してください。

メンテナンス

製品が正しく動作しない場合、販売店または最寄りのサービスセンターに連絡してください。承認されていない修理や保守行為による問題について、当社はいかなる責任も負いません。

デバイスの部品の一部(例: 電気キャパシタ)は定期的な交換が必要です。平均的な部品寿命は様々ですので、定期的な点検を推奨します。詳細については販売店にお問い合わせください。

クリーニング



製品カバーの内側と外側の表面には柔らかく乾いた布を用いてください。アルカリ洗剤を使用しないでください。

利用環境

動作環境がデバイスの要求条件を満たすようにしてください。動作温度は-30℃から60℃(-22°Fから140°F)で、動作湿度は95%以下(結露なきこと)です。



レーザー装置が利用されている場合、デバイスのレンズがレーザー光線に晒されないようにしてください。焼き付きが発生することがあります。

デバイスを高出力電磁波やほこりっぽい環境にさらさないでください。

屋内専用デバイスについては、乾燥した、通気性の良い環境に設置してください。

太陽や極めて明るい光にレンズを向けないでください。

緊急事態



デバイスから煙、異臭、騒音が発生した場合、すぐに電源を切り、電源ケーブルを抜いて、サービスセンターにご連絡ください。

時刻同期

ローカル時刻をネットワークの時刻と同期しない場合、初回アクセス時にカメラの時刻をマニュアルで設定してください。Web ブラウザ/クライアントソフトウェア経由でカメラにアクセスし、時刻設定インターフェイスにあります。

目次

| | |
|--|-----------|
| 1 外見の説明 | 9 |
| 2 取り付け | 11 |
| 2.1 メモリカードの取り付け | 12 |
| 2.2 レンズの取り付け | 13 |
| 2.3 カメラのマウント | 14 |
| 2.3.1 吊り下げマウント | 14 |
| 2.3.2 壁面マウント | 15 |
| 2.4 ハウジングによるマウント | 18 |
| 2.5 ズームとフォーカスの調整 | 23 |
| 3 LAN 経由のネットワークカメラの設定 | 25 |
| 3.1 配線 | 25 |
| 3.2 カメラのアクティベート | 26 |
| 3.2.1 Web ブラウザ経由のアクティベーション | 26 |
| 3.2.2 SADP ソフトウェア経由のアクティベーション | 28 |
| 3.3 IP アドレスの変更 | 30 |
| 4 Web ブラウザ経由のアクセス | 33 |
| 5 Hik-Connect アプリ経由の操作 | 36 |
| 5.1 カメラの Hik-Connect サービス有効化 | 36 |
| 5.1.1 SADP ソフトウェア経由の Hik-Connect サービス有効化 | 36 |
| 5.1.2 Web ブラウザ経由の Hik-Connect サービス有効化 | 38 |
| 5.2 Hik-Connect 設定 | 39 |
| 5.3 カメラの Hik-Connect への追加 | 39 |
| 5.4 メモリカードの初期化 | 41 |

1 外見の説明

ボックスカメラの外観は以下のようになっています:

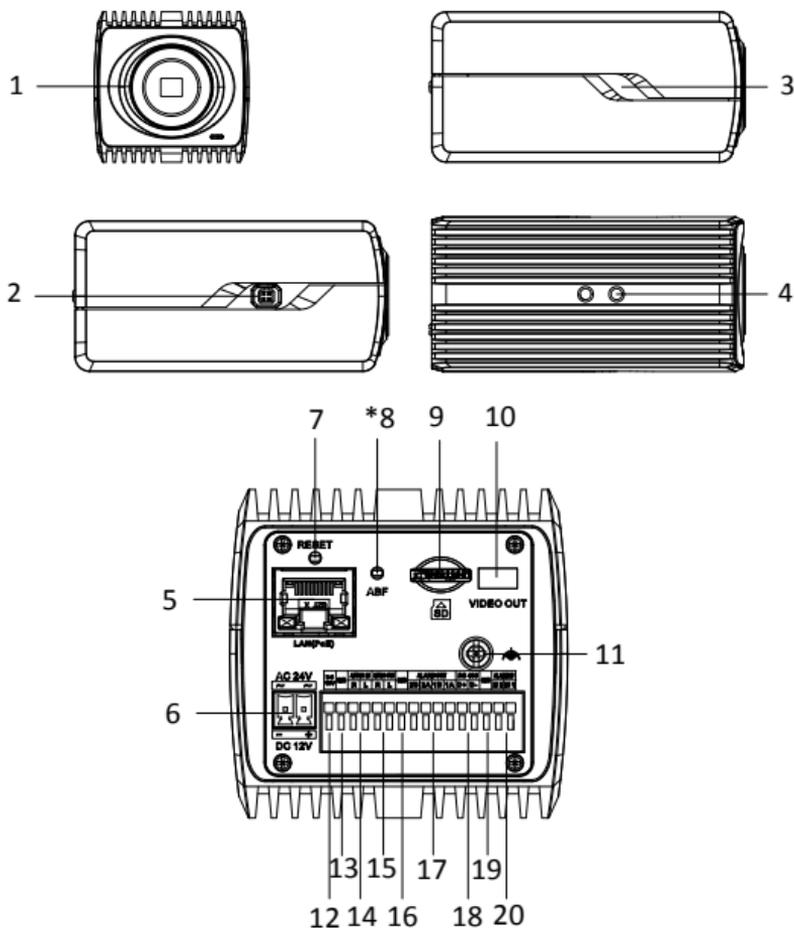


図 1-1 概観

ネットワークボックスカメラ・クイックスタートガイド

表 1-1 詳細

| 番号 | 説明 | 番号 | 説明 |
|----|------------------|----|------------------------|
| 1 | レンズマウント | 2 | 自動絞りインターフェイス |
| 3 | 電源インジケータ | 4 | ¼-20 UNC ネジ穴 |
| 5 | LAN(PoE 802.3af) | 6 | 電源 (12 VDC/24 VAC) |
| 7 | リセット | 8* | ABF (オートバックフォーカス) |
| 9 | メモ리카ードスロット | 10 | ビデオ出力 |
| 11 | アースネジ | 12 | 電源出力 (12 VDC、200mA) |
| 13 | アース | 14 | 音声入力 |
| 15 | 音声出力 | 16 | アース |
| 17 | アラーム出力 | 18 | RS-485 |
| 19 | アース | 20 | アラーム入力 |

注意:

- 電源インジケータ: 赤は起動中、青は動作中を示します。
- カメラをデフォルトのパラメータにリセットするには、カメラの RESET ボタンと電源を押し続ける必要があります。カメラの電源がオンになった後も、RESET ボタンを 10 秒ほど押し続けてください。
- ABF は特定のモデルのカメラでサポートされています。

2 取り付け

始める前に:

- パッケージの中の機器の状態に問題がなく、すべての組立部品が含まれていることを確認してください。
- 標準の電源は 12VDC、24VAC、または PoE (802.3af) です。供給電源がカメラと一致していることを確認してください。
- 設置作業中はすべての関連装置の電源がオフになっていることを確認します。
- 設置環境に関連する製品の仕様をチェックしてください。
- 壁面が、カメラと取付金具の重量の 4 倍の重量に耐えられる十分な強度を持っていることを確認してください。

赤外線をサポートするカメラについては、赤外線の反射を防ぐために、以下の注意事項に留意する必要があります:

- カメラのレンズのすぐそばに反射面がないことを確認してください。カメラからの赤外線光がレンズに反射される可能性があります。

2.1 メモリカードの取り付け

手順：

1. メモリカードをカメラ背面パネルのカードスロットに挿入します。
2. (オプション) メモリカードを取り出す場合、再度押し込んでイジェクトしてください。

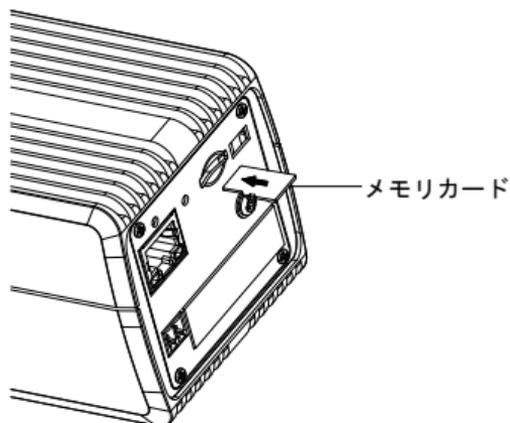


図 2-1 メモリカードの取り付け

2.2 レンズの取り付け

始める前に:

以下に示すレンズは参考用です。

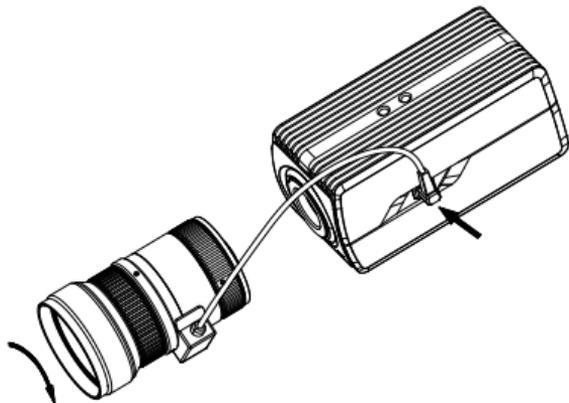


図 2-2 レンズの取り付け

手順:

1. レンズ（付属していません）をカメラに合わせ、回転させて固定します。

注意:

- C マウントレンズを利用する場合、レンズインターフェイスにアダプターリングを取り付けてください。
 - 手動絞りレンズは自動絞りの電源ケーブルを自動絞りインターフェイスに接続せず、カメラに直接取り付けられます。
2. 自動絞りケーブルは自動絞りインターフェイスに接続します。

2.3 カメラのマウント

2.3.1 吊り下げマウント

始める前に:

吊り下げマウントはパッケージに含まれていません。このマウント形式を利用する場合、事前にマウント取付金具を用意する必要があります。以下に示す吊り下げマウントは参考用です。

手順:

1. 同梱のネジで吊り下げマウント取付金具を天井に固定します。

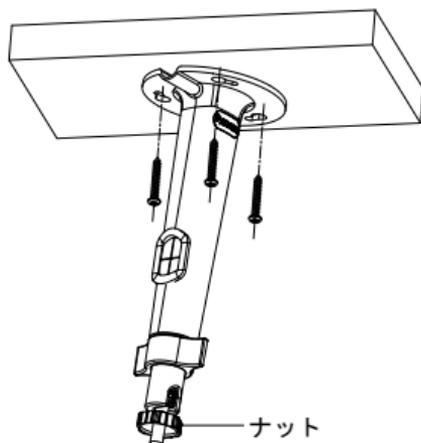


図 2-3 マウントの取付け

2. カメラを吊り下げマウントにねじ込み、ナットで固定します。

3. 監視角度の調整

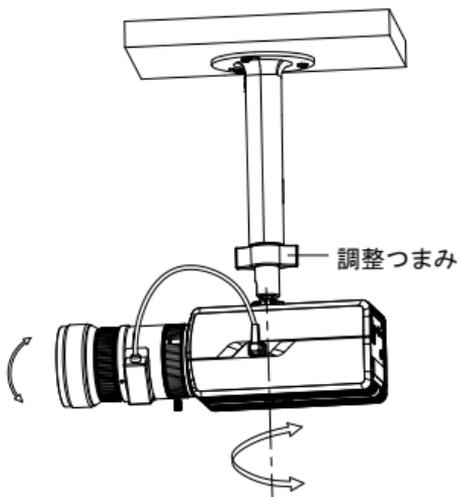


図 2-4 監視角度の調整

- 1). 調整ノブを緩めます。
- 2). カメラ本体を保持し、パンおよびチルトを調整します。
- 3). 調整後、ノブを締めます。
4. ズームとフォーカスレベルを調整します。2.5 節を参照してください。

2.3.2 壁面マウント

始める前に:

壁面マウントはパッケージに含まれていません。このマウント形式を利用する場合、事前にマウント取付金具を用意する必要があります。以下に示す壁面マウントは参考用です。

手順：

1. 壁面マウントから台座を取り外します。

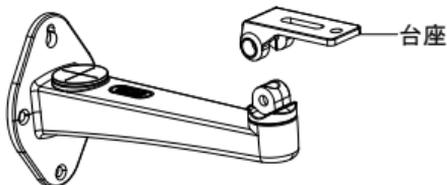


図 2-5 台座の取り外し

2. 台座をカメラ本体に固定します。

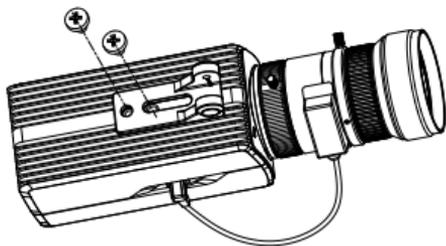


図 2-6 台座とカメラの固定

3. 壁面マウントを壁面に設置します。
4. 壁面マウントに、台座をカメラと合わせて元通りに設置します。

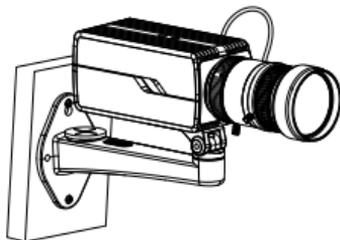


図 2-7 壁面マウントへのカメラの設置

5. 監視角度を調整します。

- 1). チルト調整ネジをゆるめます。調整後、ネジを締めます。
- 2). パン調整ネジをゆるめます。調整後、ネジを締めます。

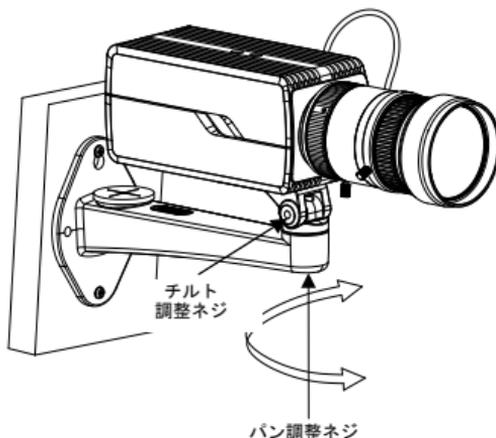


図 2-8 監視角度の調整

6. ズームとフォーカスレベルを調整します。2.5 節を参照してください。

2.4 ハウジングによるマウント

始める前に:

ハウジングはパッケージに含まれていません。このマウント形式を利用する場合、ご自身で用意していただく必要があります。また、ハウジングマウントについては、適合する取付金具を事前に用意する必要があります。

手順:

1. カメラをハウジングのマウントプレートにねじ込みます。

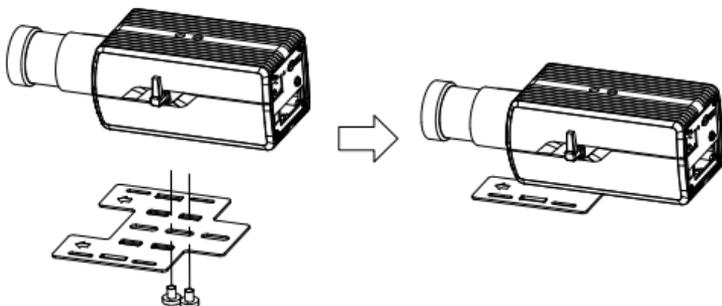


図 2-9 マウントプレートへのカメラの設置

2. カメラとともにマウントプレートをハウジングに元通りにねじ込みます。

注意:

カメラを窓部分に可能な限り近づけるよう押し込みます。

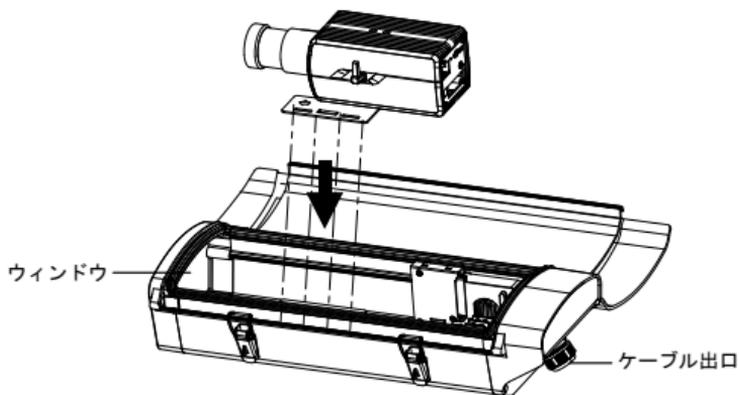


図 2-10 ハウジングへのカメラの設置

- ハウジングのケーブル出口を通じてケーブルを配線して接続します。
- 1). ネットワーク、アラーム入力および出力、音声入力および出力について、対応するプラグをカメラの背面パネルに差し込みます。図 1-1 を参照してください。
- 2). 電源および RS-485 については下図を参照してください。

ネットワークボックスカメラ・クイックスタートガイド

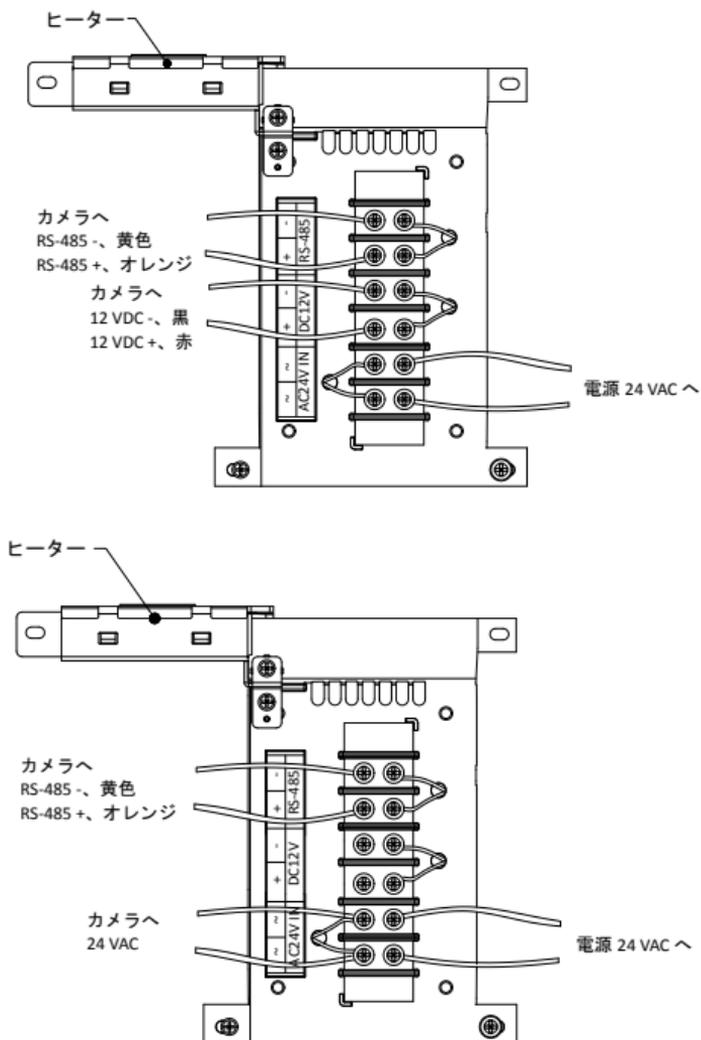
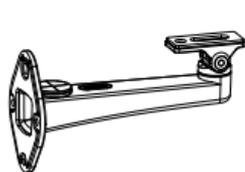


図 2-11 ハウジングの配線ボード

4.ハウジングの固定

5. 監視エリアにハウジングを設置します。

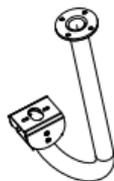
取付金具を使ってハウジングを壁面マウント、ポールマウントおよび吊り下げマウントに固定します。取付金具は下図の通りです：



壁面マウント



水平ポールマウント



吊り下げマウント

- 1). 取付金具を壁面/天井/ポールに固定します。壁面マウント取付金具、環状マウント取付金具および吊り下げ取付金具を下図に示します。

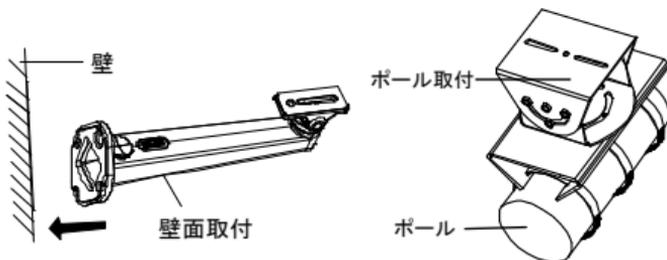


図 2-12 マウント位置への取付金具の設置 (1)

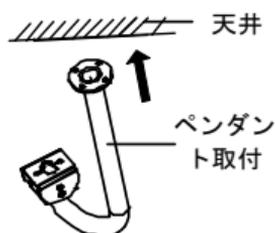


図 2-13 マウント位置への取付金具の設置 (2)

- 2). 同梱のネジでハウジング(カメラ込み)を取付金具に固定します。
- 3). 調整ネジをゆるめ、カメラの監視角度を調整します。調整後、ネジを締めます。

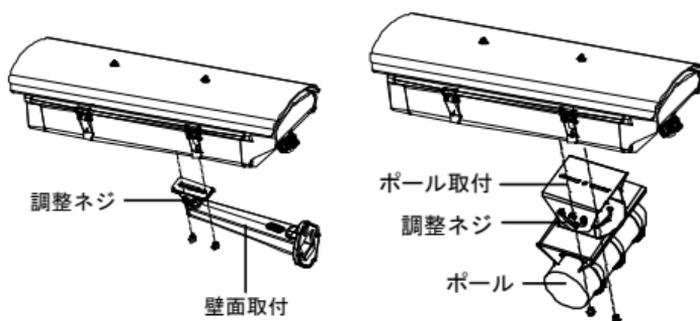


図 2-14 取付金具へのハウジングの固定 (1)

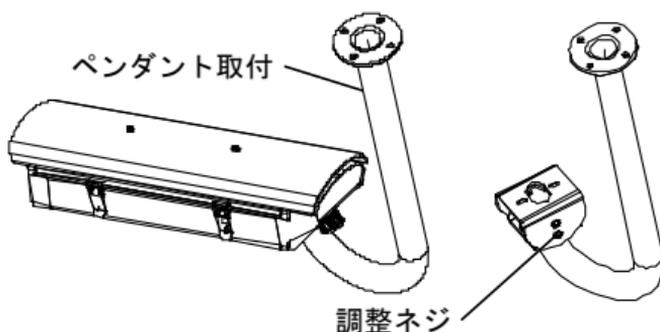


図 2-15 取付金具へのハウジングの固定 (2)

6. ズームとフォーカスレベルを調整します。2.5 節を参照してください。

2.5 ズームとフォーカスの調整

手順：

1. カメラの電源をオンにします。
2. カメラのビデオ出カインターフェイスをインストールディスプレイデバイスに接続します。
3. ディスプレイデバイス上の映像に応じてズームレバーとフォーカスレバーを調整します。

注意：

自動絞りを搭載したカメラについては、カメラメニューから絞りモードを手動に変更するよう推奨します (Web ブラウザを介してアクセス)。フォーカスレバーでフォーカスを調整したら、再び自動絞りに変更してください。

ネットワークボックスカメラ・クイックスタートガイド

4. (オプション) ABF をサポートするカメラの場合、フォーカスを手動で調整するか、またはカメラの背面パネルの ABF ボタンをクリックすることでフォーカスを自動調整できます。

3 LAN 経由のネットワークカメラの設定

注意:

インターネットアクセスを通じて製品を使用した場合、ネットワーク上のセキュリティリスクがあることを承諾したものと見なされます。ネットワーク攻撃や情報漏えいを回避するには、ご自身の保護対策を強化してください。

製品が正しく動作しない場合、販売店または最寄りのサービスセンターに連絡してください。

3.1 配線

以下の図にしたがってカメラをネットワークに接続します。

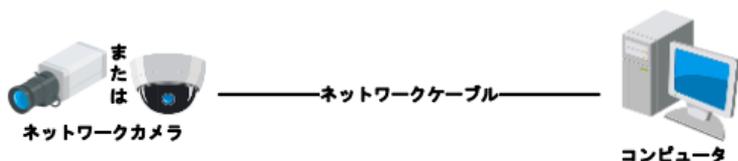


図 3-1 直接接続

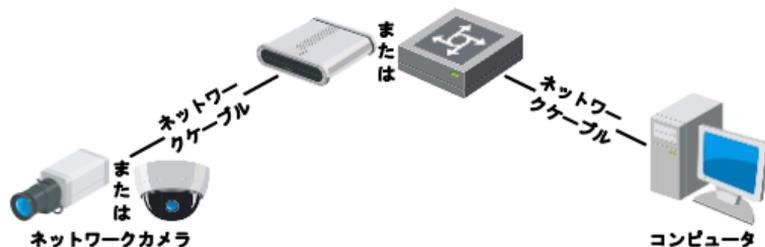


図 3-2 スイッチまたはルータ経由の接続

3.2 カメラのアクティベート

カメラを使い始める前に、まず強力なパスワードを設定してカメラをアクティベートする必要があります。

Web ブラウザ経由のアクティベート、SADP 経由のアクティベート、そしてクライアントソフトウェア経由のアクティベートのすべてに対応しています。SADP ソフトウェアおよび Web ブラウザ経由のアクティベーションを例にカメラのアクティベーションを説明します。

注意:

クライアントソフトウェア経由のアクティベーションについてはネットワークカメラのユーザマニュアルを参照してください。

3.2.1 Web ブラウザ経由のアクティベーション

手順:

1. カメラの電源をオンにします。カメラをお使いのコンピュータまたはコンピュータが接続されているスイッチ/ルータに接続します。
2. Web ブラウザのアドレスバーに IP アドレスを入力し、[Enter] キーを押してアクティベーションインターフェイスに進みます。

注意:

- カメラのデフォルト IP アドレスは 192.168.1.64 です。
- コンピュータとカメラは、同じサブネットに属している必要があります。
- DHCP がデフォルトで有効化されているカメラの場合、SADP ソフトウェアを利用して IP アドレスを検索する必要があります。

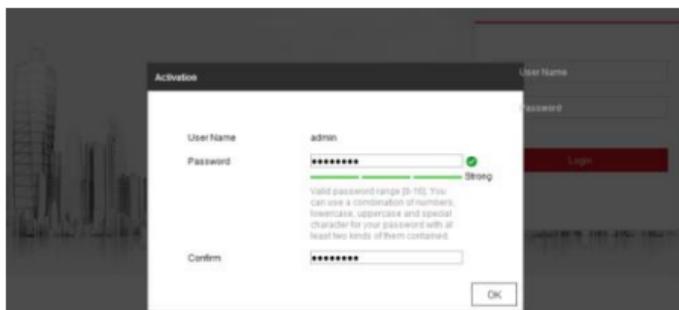


図 3-3 アクティベーションインターフェイス (Web)

3. 新しくパスワードを作り、パスワードフィールドに入力します。



強力なパスワード推奨 - 製品のセキュリティ向上のために、ご自身で選択した強力なパスワード（最低 8 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含む）を作成することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティ システムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

4. パスワードを確認します。
5. [OK] をクリックしてパスワードを保存し、ライブビューインターフェイスに進みます。

3.2.2 SADP ソフトウェア経由のアクティベーション

SADP ソフトウェアはオンラインデバイスの検知、カメラのアクティベート、およびパスワードのリセットに利用します。

SADP ソフトウェアを付属のディスクまたは公式の Web サイトから入手し、プロンプトに従って SADP をインストールします。ステップにしたがい、カメラをアクティベートします。

手順：

1. SADP ソフトウェアを実行し、オンラインデバイスを検索します。
2. デバイスリストからデバイスステータスをチェックし、非アクティブ状態のデバイスを選択します。

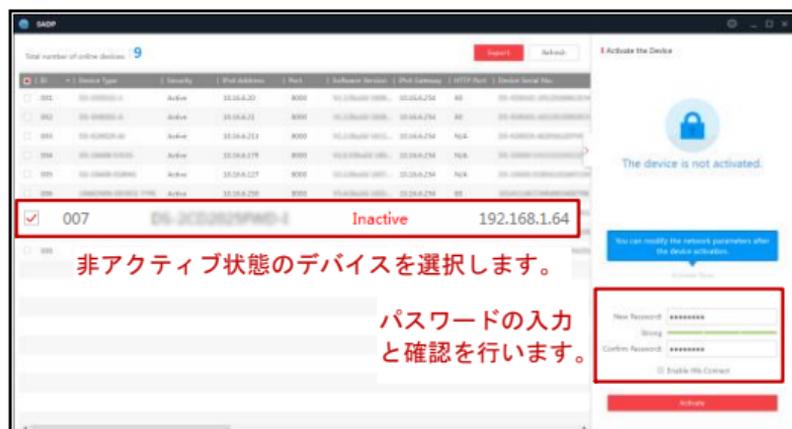


図 3-4 SADP インターフェイス

注意:

SADP ソフトウェアはカメラの一括アクティベートをサポートしています。詳細については SADP ソフトウェアのユーザーマニュアルを参照してください。

3. パスワードフィールドに新たなパスワードを入力して、パスワードを確認します。



強力なパスワード推奨 - 製品のセキュリティ向上のために、ご自身で選択した強力なパスワード（最低 8 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含む）を作成することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティ システムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

注意:

アクティベーション中に、デバイスに対して Hik-Connect サービスを有効化することができます。詳細については 5.1 章を参照してください。

4. **[アクティベート]**をクリックしてアクティベーションを開始します。

ポップアップウィンドウからアクティベーションが完了したかを確認することができます。アクティベーションが失敗した場合、パスワードが要件に適合していることを確認して再試行してください。

3.3 IP アドレスの変更

目的:

カメラを LAN(ローカルエリアネットワーク) 経由で閲覧、設定するためには、ネットワークカメラをお使いの PC と同じサブネットに接続する必要があります。

SADP ソフトウェアもしくはクライアントソフトウェアをインストールし、デバイスの IP を検索して変更します。ここでは、SADP ソフトウェア経由での IP アドレス変更を例に取り上げて、IP アドレス変更の説明いたします。

クライアントソフトウェア経由で IP アドレスを変更する場合は、クライアントソフトウェアのユーザマニュアルを参照してください。

手順:

1. SADP ソフトウェアを実行します。
2. アクティブデバイスを選択します。
3. デバイスの IP アドレスをお使いのコンピュータと同じサブネットにするには、IP アドレスを手動で変更するか、[DHCP を有効化する]のチェックボックスをチェックしてください。

Modify Network Parameters

Enable DHCP
 Enable Hik-Connect

Device Serial No.:

IP Address:

Port:

Subnet Mask:

Gateway:

IPv6 Address:

IPv6 Gateway:

IPv6 Prefix Length:

HTTP Port:

----- Security Verification -----

Admin Password:

[Modify](#)

[Forgot Password](#)

図 3-5 IP アドレスの変更

注意:

アクティベーション中に、デバイスに対して Hik-Connect サービスを有効化することができます。詳細については 5.1 章を参照してください。

4. 管理者パスワードを入力して **[変更]** をクリックし、IP アドレスの変更を有効化してください。

SADP では IP アドレスの一括変更がサポートされています。詳細については SADP のユーザマニュアルを参照してください。

4 Web ブラウザ経由のアクセス

システム要件：

オペレーティングシステム:Microsoft Windows XP SP1 またはそれ以上

CPU:2.0 GHz またはそれ以上

RAM:1G またはそれ以上

ディスプレイ:解像度 1024×768 またはそれ以上

Web ブラウザ:Internet Explorer 8.0 以降のバージョン、Apple Safari 5.0.2 以降のバージョン、Mozilla Firefox 5.0 以降のバージョンおよび Google Chrome 18～42。

手順：

1. Web ブラウザを開きます。
2. ブラウザのアドレスバーにネットワークカメラの IP アドレスを入力し、[エンター] キーを押してログインインターフェイスに入ります。

注意:

- デフォルト IP アドレスは 192.168.1.64 です。IP アドレスは、お使いのコンピュータと同じサブネットに変更することをお勧めします。
3. ユーザ名とパスワードを入力します。
管理ユーザはデバイスのアカウントおよびユーザ/オペレータの権限を適切に設定する必要があります。必要のないアカウントおよびユーザ/オペレータ権限は削除してください。

注意:

管理ユーザがパスワード入力に 7 回失敗するとデバイスの IP アドレスはロックされます (ユーザ/オペレータの場合、5 回)。

4. **[ログイン]**をクリックします。



図 4-1 ログインインターフェイス

5. お使いの Web ブラウザに適切なプラグインをダウンロードしてインストールしてください。

IE ベースの Web ブラウザでは、webcomponents および QuickTime™ がオプションとなります。非 IE ベースの Web ブラウザでは、webcomponents、QuickTime™、VLC および MJPEG がオプションとなります。

注意:

プラグインのインストールを完了するために Web ブラウザを閉じなければならない場合があります。

6. プラグインをインストールした後で Web ブラウザを再起動し、ステップ 2~4 を繰り返してログインします。

注意:

その他の設定の詳細な解説についてはネットワークカメラの使用説明書を参照してください。

5 Hik-Connect アプリ経由の操作

目的:

Hik-Connect は、モバイルデバイス用のアプリケーションです。このアプリでは、カメラのライブ画像の表示、アラーム通知の受信などができます。

注意:

Hik-Connect サービスは特定モデルのカメラではサポートされていません。

5.1 カメラの Hik-Connect サービス有効化

目的:

Hik-Connect サービスは、サービスを使用する前に、お使いのカメラに対して有効化する必要があります。

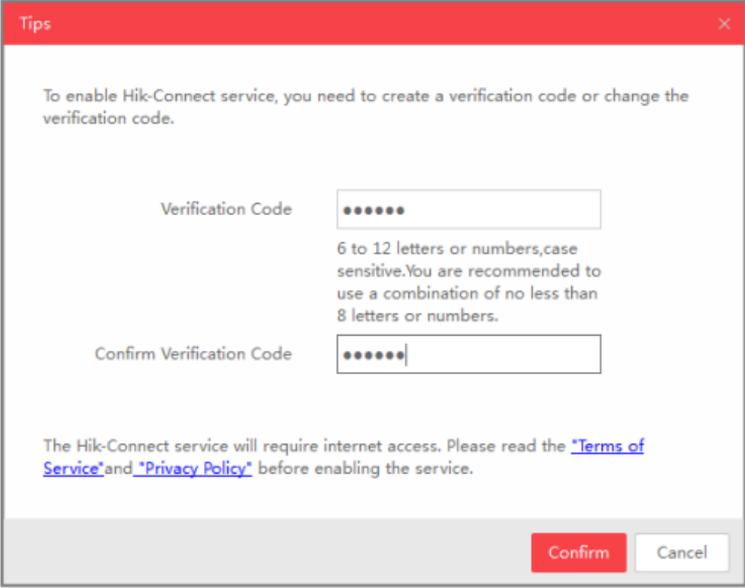
SADP ソフトウェア、または Web ブラウザ経由でサービスを有効化することができます。

5.1.1 SADP ソフトウェア経由の Hik-Connect サービス有効化

手順:

1. 以下の場所にある**[Hik-Connect 有効化]**チェックボックスをチェックします:
 - 1). カメラ アクティブーション中の「デバイスのアクティベート」ページ(詳細は 3.2.2 章を参照)。
 - 2). または、IP アドレス変更中の、「ネットワーク パラメータの変更」ページ(詳細は 3.3 章を参照)。

2. 認証コードを作成するか、認証コードを変更してください。



The screenshot shows a dialog box titled "Tips" with a red header and a close button (X) in the top right corner. The main text reads: "To enable Hik-Connect service, you need to create a verification code or change the verification code." Below this, there are two input fields. The first is labeled "Verification Code" and contains six dots. To its right, the text says: "6 to 12 letters or numbers, case sensitive. You are recommended to use a combination of no less than 8 letters or numbers." The second input field is labeled "Confirm Verification Code" and contains six dots with a cursor at the end. Below the input fields, there is a note: "The Hik-Connect service will require internet access. Please read the [\"Terms of Service\"](#) and [\"Privacy Policy\"](#) before enabling the service." At the bottom right, there are two buttons: "Confirm" (red) and "Cancel" (white).

図 5-1 認証コード設定 (SADP)

注意:

認証コードはカメラを Hik-Connect アプリに接続する際に必要になります。

3. クリックして「利用規約」と「プライバシーポリシー」を確認してください。
4. 設定を確認します。

5.1.2 Web ブラウザ経由の Hik-Connect サービス有効化 始める前に:

このサービスを有効化する前に、カメラをアクティベートする必要があります。3.2 章 を参照してください。

手順 :

1. カメラに Web ブラウザ経由でアクセスします。4 章 を参照してください。
2. プラットフォームアクセス設定インターフェイスに入ります:[設定] > [ネットワーク] > [詳細設定] > [プラットフォームアクセス]

Enable
 Platform Access Mode: Hik-Connect
 Server IP: dev.hik-connect.com Custom
 Register Status: Offline
 Verification Code: ●●●●●●
 6 to 12 letters (a to z, A to Z) or numbers (0 to 9), case sensitive. You are recommended to use

図 5-2 プラットフォームアクセスの設定 (Web)

3. プラットフォームアクセスモードとして Hik-Connect を選択します。
4. 有効化のチェックボックスを選択します。
5. クリックして、ポップアップ ウィンドウ上で「利用規約」と「プライバシー ポリシー」を確認してください。

6. カメラの認証コードを作成するか、認証コードを変更してください。

注意:

認証コードはカメラを Hik-Connect アプリに接続する際に必要になります。

7. 設定を保存します。

5.2 Hik-Connect 設定

手順:

1. App Store または Google Play™ で「Hik-Connect」で検索し、Hik-Connect アプリをダウンロードしてインストールします。
2. アプリを起動して、Hik-Connect ユーザアカウントを登録します。
3. 登録後、Hik-Connect アプリにログインします。

5.3 カメラの Hik-Connect への追加

始める前に:

カメラを Hik-Connect アカウントに追加する前に、カメラの Hik-Connect サービスを有効にする必要があります。5.1 章を参照してください。

手順:

1. カメラが Wi-Fi をサポートしていない場合、ネットワークケーブルを利用してカメラをルータに接続します。



図 5-3 ルータの接続

注意:

カメラをネットワークに接続した後、Hik-Connect 上でカメラを操作する前に、1分間待ってください。

2. Hik-Connect アプリ上で右上隅の「+」をタップし、カメラのQRコードをスキャンしてカメラを追加します。

QRコードはカメラの上、またはデバイスのパッケージに同梱されているカメラのクイックスタートガイドの表紙にあります。

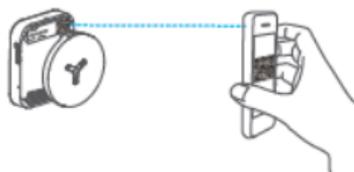


図 5-4 QRコードのスキャン

注意:

QRコードが見つからない、または認識できないくらいぼやけている場合、 アイコンをタップしてカメラのシリアル番号を入力することで、カメラを追加できます。

3. カメラの認証コードを入力してください。

注意:

- 必要な認証コードはカメラの Hik-Connect サービスを有効化する際にあなたが作成または変更したコードです。
 - 検証コードを忘れてしまった場合は、Web ブラウザから [プラットフォームアクセス] 設定ページを開くことで、現在の認証コードをチェックすることができます。
4. プロンプトにしたがってネットワーク接続を設定し、カメラをあなたの Hik-Connect アカウントに追加してください。

注意:

詳細な情報については、Hik-Connect アプリのユーザマニュアルを参照してください。

5.4 メモリカードの初期化

手順:

デバイス設定インターフェイスのストレージステータスをタップしてメモリカードのステータスをチェックします。

メモリカードのステータスが「未初期化」と表示されている場合、タップして初期化します。すると、ステータスが正常に変化します。これで、カメラで、動体検知などのイベントトリガービデオの録画が開始できます。

